児島中央病院だより

こちゅう

11月号
Vol.107

「世羅高原農場の秋晴れに映えるダリア」

特集　児島地区看護関係職員研修参加記

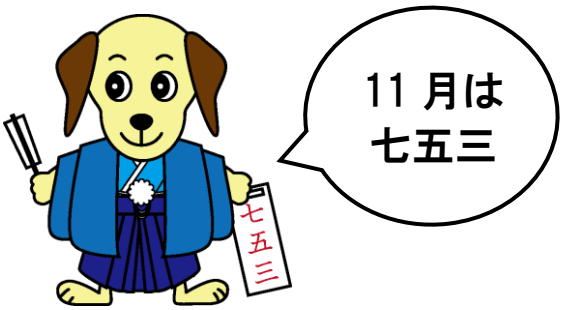
公開医療介護講座
◎「誰にでもできる一次救命処置」

地域医療連携室発
◎「感涙をよんだオータムコンサート」

法律相談Q＆A
◎隣家の樹木が越境してくる場合にはどうする？

院内NEWS
◎10月から医療事故調査制度開始によせて
◎リレーマラソンにチャレンジ

ようこそ!!オープンギャラリー
◎「癒しの空間」へ



一般財団法人 仁厚医学研究所
児島中央病院

特 集

児島地区看護関係職員研修参加記

平成 27 年 10 月 8 日(木)に児島市民交流センターで「認知症のある高齢者の理解　～入院時の対応～　」の研修があり受講しました。講師はコープリハビリテーション病院の認知症看護認定看護師の田上理枝さんです。

認知症とは、正常に発達した認知機能が脳の器質的変化によって徐々に低下し、日常生活の遂行に不具合を生じた状態のことをさします。65 歳以上では 7 人に 1 人が認知症とされ、今後は高齢化とともに認知症患者は増加していくと考えられます。認知症の患者さんが入院する際の対応が困難な要因として、患者さん自身が入院する理由や出来事を覚えていないこと、また今、なぜ、この処置が行われているのかその理由を覚えていないこと、処置による苦痛や不快感が優先するなどが挙げられます。

入院中は患者さんにとって不安な事ばかりです。不安は認知機能を低下させますが、感情面の機能の低下はせず私達と同じように感じることができるということなので、安心できるように笑顔で対応することが大切だと思いました。認知症だから「分らない」と思うのではなく、患者さんとゆっくり関わり、そして返事を聞き、きちんとしたコミュニケーションの形成をはかることで、患者さんが思っていることや持っている力(潜在能力) を引き出し、その人らしい生活を過ごして貰えるよう(QOL の向上)に支援して行くことが大事だと感じました。

私の父も軽い認知症がありました。ある日、発熱で入院しましたが、熱と環境の変化で自分の状況が理解できず廊下をウロウロ歩いていました。その時看護師さんから「歩き回らず、おとなしく寝ていて」と強い口調で言われたことを思い出します。幸いにも、直ぐに熱は下がったので退院させて貰いましたが、自宅に帰ってからも 2～3 日は少々混乱が続き、時間の経過とともに落ち着きを取り戻し普段通りの生活が出来るようになりました。その後は、訪問診療を受けながら入院することもなく自宅で穏やかな生涯を終えることが出来ました。

「認知症」は誰にでも降りかかる可能性があります。今回の研修を受講しあらためて、“自分が認知症になったら･･･”、“自分の家族が認知症になったら･･･”と、自分に置き換えて考え、認知症の患者さんにも優しい病院を作って行かなければならないと考えさせられた一日でした。

（回復期リハビリ病棟　看護師長　豊良　勢津子）

プレイバック公開医療介護講座

「誰にでもできる　一次救命処置」

講師：児島中央病院地域医療連携室　野田祥平

9 月 24 日(木)午後 2 時より、当院多目的ホールにおいて公開医療介護講座を開催いたしました。講師は著者が務めさせて頂きました。今回は地域の方々をはじめ、入院患者さま、その他ご家族さまを含む総勢 17 名の方にご参加いただきました。一次救命処置そのものに関する解説に加えて胸骨圧迫や AED を使用した実技を織り交ぜての内容で、「実際に胸骨圧迫をしてこんなに強く押すとは思わなかった。」「初めて AED をふれてみれて良かった。」「これならいざという時に使えそう。」「実際にどうやっているのかが分かった」などの声がきかれました。昨年同様に一次救命処置に興味を持っていただける方が今後も増えることを願ってやみません。

本講座にご来院の方には“いきいき健康ノート”をお配りしています。看護師による血圧測定やケアマネージャーによる介護相談も行っていますので、日ごろの健康管理にお役立て下さい。また、講座に 3 回参加されますと記念の賞もご用意しております。皆さま、お誘い合わせの上、是非ご参加ください。

（地域医療連携室　野田祥平）

次回開催のお知らせ

「在宅における薬剤師の関わり」

講師：薬剤科科長　渡邉　茂永

日　時　11 月 26 日(木)14:00～
場　所　2 階多目的ホール
問合先　地域医療連携室（☎086-473-7815）

特別公開医療介護講座

「慢性腎臓病はどうすれば悪くなるのか」

講師：病院長　田邉　秀幸

日　時　【基礎編】11 月 10 日(火)14:00～
【応用編】11 月 17 日(火)14:00～
場　所　2 階多目的ホール
問合先　地域医療連携室（☎086-473-7815）

TOPICS

感涙をよんだ オータムコンサート

9 月 19 日(土)午後 2 時から、当院多目的ホールにおいてユニット妖(よう)のお二人によります“オカリナ＆琴の優しい調べ”を開催いたしました。入院患者様、ご家族様をはじめ、病院関係者ら総勢約 74 名の方々にお越しいただき大盛況のうちに終了いたしました。「ことり」や「宵待草節」など、曲目の説明やエピソードを間に交えて優しい音色を奏でていただきました。

いろいろなオカリナの演奏や琴の独奏など披露され、普段なかなか目にすることのない楽器と演奏に会場中が惹きよせられていました。コンサート後半では、「荒城の月」や「かなしい酒」、「上を向いて歩こう」などなつかしい曲まで登場し、入院患者様やご家族の方々の心まで届きました。会場全体で名曲「ふるさと」を大合唱、鳴り止まない拍手のなか入院患者様の希望があり「さくらさくら」をアンコールしていただきました。

この度、初めてお招きしたオカリナの演奏者・渡辺史子さんと和楽器演奏者の原野学さんは、和楽器とトリプルオカリナの珍しい形でありながらどこか懐かしくさわやかなサウンドを奏でるユニット妖(よう)として、岡山を中心に北は山形県、南は沖縄県まで日本全国でライブ活動を精力的に展開されています。

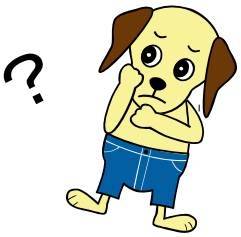
機会があれば是非また、コンサートを計画したいと思います。今回のように感動的なコンサートが行えたのも、ボランティアの皆様をはじめ、関係者の方々にご尽力いただいたおかげと深く感謝しております。

次回はクリスマスコンサートを 12 月 12 日(土)に企画しておりますので、皆様お誘い合わせの上、是非ご参加くださいますよう、スタッフ一同心よりお待ちいたしております。

（地域医療連携室　田邉絵理奈）

Q 隣家の樹木が越境してくる場合にはどうする？

自宅の庭に隣地（空き地）に生えている大きな樹木の枝が数本入り込んでいます。隣地の持ち主はもともと地元の方なのですが、何度かの転売を経たらしく現在の持ち主は不明です。
約50坪の隣地内にある多くの樹木群は数メートルにも成長し、今では森となってその一部が自宅の塀を超えて敷地内に入り込んできています。ほとんど雑木のようですので、勝手に撤去してよいものかどうか。あるいはできないとすればどのような方法でこの樹木の枝や樹木を撤去できるのでしょうか。法的に気を付けなければならないポイント、費用負担なども併せご教示いただければと思います。



A 原則として、枝を勝手に切除してはならない。

民法第233条第１項は「隣地の竹木の枝が境界線を越えるときは，その竹木の所有者に，その枝を切除させることができる。」と規定されています。同第２項は「竹木の根が境界線を越えるときは，その根を切り取ることができる。」と規定されていることと対比すると明らかなように，民法は，根っこは切り取ってよいが，枝については自ら切り取るのではなく，樹木の所有者に切らせなければならないとの立場をとっているのです。

したがって，原則として，ご相談のような場合に枝を勝手に切除してはなりません。樹木の所有者と話合いが可能な場合には切り取ってもらうよう交渉することになりますが，樹木所有者との話合いがまとまらない場合には最終的には裁判を起こす外ないのです。裁判を起こして，樹木所有者に対して切除を命じる判決を獲得し，それでも従わない場合には，相談者において植木業者等に依頼して枝の切除を行い，その費用を隣地所有者に負担させる「代替執行」という方法をとります。この場合にかかる費用は樹木所有者が負担すべきものです。

裁判では，枝を緊急に切り取る必要がなく，切取りによって樹木所有者の側により大きな損害を生じるような場合（高価な銘木が対象である場合など。）には権利の濫用に当たるものとして，切取りを認めないこともありますが，ご相談のように手入れされることなくただ放置して雑木のようになっている場合には切取りが認められるものと考えられます。

また，本件では樹木の所有者が不明のようです。樹木の所有者は，多くの場合，隣地所有者と一致しているでしょうから，まずは隣地の不動産登記事項証明書を取得して隣地所有者を確認することになります。

森脇法律事務所
弁護士　中　濵　孔　貴（右上写真）
〒700-0816
岡山市北区富田町 1-2-13　香楽ビル
TEL：086-226-1215 FAX：086-226-1239
MAIL：nakahama-k@moriwaki-lawoffice.com

食材の底力

鰯（いわし）

年々、魚獲量が減少し、値段も高騰しつつある鰯ですが、栄養豊富な青魚の代表格です。栄養成分では、動脈硬化を予防する IPA や DHA、骨を強くするカルシウム、肝臓機能を回復させたり、高血圧予防のタウリンなどが豊富に含まれています。疲れの出やすい秋に、かば焼きや梅干煮、フライなどにして頂きたいものです。　　栄養管理科

医療事故調査制度開始に寄せて

いよいよ10月から医療事故調査制度が始まりました。この医療事故調査制度については 8 月 30 日(日)に岡山衛生会館で行われた日本医療安全調査機構の説明会に参加しました。会場には岡山県だけではなく近隣の県から説明を聞きに来ていた方もいたようで、最後の質疑の時間では途中で打ち切らなくてはならなくなるような状態で、関心の高さがうかがわれました。説明会はまず厚生労働省医政局の総務課医療安全推進室の大坪室長から始まり、調査制度の対象となる医療事故、調査制度の流れ、支援団体、支援センターの役割等、総括的な説明がありました。次に日本医師会の今村常任理事からは支援団体の一覧やその役割、院内調査の方法や内容、また都道府県医師会が相談窓口となり、院内事故調査委員会の外部委員の参加や Ai、解剖、支援センターへの報告、遺族への説明等を支援する旨の説明がありました。最後に日本医療安全調査機構の木村常任理事から支援センターの役割、医療事故調査の流れ、相談対応と情報提供及び支援、調査報告の受理、支援センターによる医療事故調査など業務内容の説明がありました。

この医療事故調査制度の対象となる医療事故は「医療従事者が提供した医療に起因又は起因したと疑われる死亡」で、「病院の管理者が死亡または死産を予期しなかったもの」とされており、院内調査にかかるマンパワーや費用の負担が必要となります。

また、報告書は匿名化し遺族に交付することも努力義務とされ、関係者からの事情聴取等の内部資料は提出を強制出来ないとされているようです。しかし巷では、内部資料や遺族に交付される調査・支援センターの再調査の結果が裁判の資料として使われる懸念も指摘されているところです。いずれにせよ、既に始まった医療事故報告制度です。病院に努めるものとしてだけではなく、一患者となり得る者としても、この制度の医療事故に限らず全ての医療事故が起こらないことを祈りたいと思います。

（事務長　山田　達也）

リレーマラソンにチャレンジ

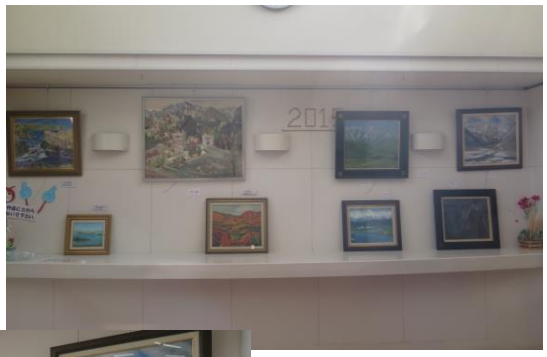
当院ソフトボール部は、10 月 11 日(日)に開催された第 5 回トマト銀行 6 時間リレーマラソン岡山大会に参加しました。初参加ということ、練習不足で 6 時間走れるかという不安もありましたが、“走者は皆のために一本のたすきを繋ぎ、皆は走者のために一丸となって応援した”ことで怪我もなく無事に 6 時間を走破することができました。一本のたすきを繋ぎ、6 時間を皆で走りきった充実感はこの上なく、走った後の疲労感はみじんも感じませんでした。

12 月 13 日の第 1 回倉敷 4 時間リレーマラソン、2016 年 1 月下旬の早島町マラソン駅伝大会にも参加予定のため、チームの団結力アップと部員の健康づくりのためにもこの冬は果敢に積極的に走り込みたいと思います。

（医事課　川口　裕志）

ようこそ！オープンギャラリー

癒しの空間へ



今月の空間

春に続き、秋の展示をお願いしました。

行田悦二氏は、山をテーマに 4 点の出展です。四季折々の山の姿が様々な表現をえがいています。古西昇氏は、初秋の勝山をえがく大作で圧倒される絵になっています。大森時夫氏は、秋の地蔵峠で紅葉の美しさを表現されていて、また犬吠埼の絵は波のしぶきの荒々しさを表現して見応えのある一枚だと思います。

ご来館の際に、今回の作品を観賞していただけたらと思います。

お知らせ

ぜひお越しください!!

「わが街健康プロジェクト。」

講演会に参加され通算 3 回を経てブロンズクラスに認定されたサポーターのみなさんは、前回の第 8 回講演会終了現在、206 名となっています。第 9 回講演会もゴールドサポーター認定式も予定されているようですので、新たなステップに進まれる皆さんとともに地域医療について共に広めていけることを楽しみにしております。

（地域医療連携室係長　安田　浩二）

外来診療予定表(11 月)

診療科	診療時間		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
内科	午前	☆	山本真也	井関裕義（禁煙外来）	大貫敬三	鏡原康介	大貫敬三	井関裕義
		☆	木村泰彦	井原章裕（9：00～12:00）	井関裕義	井原章裕（9：00～12:00）	山本真也	
	午後	☆	鏡原康介	木村泰彦	山本真也	木村泰彦	井原章裕	
	夜診	18:00～20:00	内科系医師	内科系医師	内科系医師	内科系医師	内科系医師	
糖尿病外来	午前	☆						中山富雄
	午後	☆					内科と併診	中山富雄
呼吸器内科	午前	☆		阿部公亮		池田征樹		非常勤医師
胃腸内科	午前	☆	大貫敬三					
※① 循環器内科	午前	☆	古山輝将	16:30 受付終了	鏡原康介	福原健三	玉田智子	第 1. 3 循環器内科医師
	午後	☆	古山輝将		鏡原康介	福原健三	9：00～11：30	
総合診（内科系）	午前	☆				古谷保		
小児科	午前	☆	中島英和	中島英和	中島英和	中島英和	中島英和	中島英和
	午後	13：30～14：30	予防接種 アレルギー 乳幼児健診	◎	予防接種 アレルギー 乳幼児健診		予防接種 アレルギー 乳幼児健診	予防接種 アレルギー 乳幼児健診
	午後夜診	15:30～20:00	中島英和		中島英和		中島英和	中島英和 14：30～17：00
外科	午前	☆	宮本善文	院長 田邉秀幸	院長 田邉秀幸	宮本善文	宮本善文	院長 田邉秀幸
		9:30～12:00			8：30～10：00		第１・第３岡崎（下肢静脈瘤）	
	夜診	18:00～20:00	院長 田邉秀幸	院長 田邉秀幸	院長 田邉秀幸	院長 田邉秀幸	外科系医師	
※② 整形外科	午前	☆	加川明彦		加川明彦		加川明彦	加川明彦
	午後	13：30～16：30	加川明彦	渡邊良	加川明彦		加川明彦	
脳神経外科 脳卒中科	午前	☆	木村知一郎	木村知一郎	木村知一郎		木村知一郎	
脳卒中科	午前	9：00～11：30		8：30～10：00		植村順一		第３金 8：30～10：00
耳鼻 いんこう科	午前	☆	東川康彦	東川康彦	東川康彦	東川康彦	東川康彦	
	午後	14:30～17:00	東川康彦			東川康彦	東川康彦	
形成 美容外科	午後	14:00～17:00						第１・３宗内巌
皮膚科	午前	9：30～12：00	桑原千晶					
	午後	14:00～16:30					越智安奈	
泌尿器科	午前	10:00～12:00						非常勤医師
婦人科	午後	15:00～17:00				第１・３・４		
放射線科	午前	☆			小國達郎	小國達郎		
	午後	☆			小國達郎	小國達郎		
※③ 歯科 歯科口腔外科	午前	☆	山本・猿山	目崎・猿山	猿山・米満	目崎・猿山	目崎・仲田	目崎・猿山
	午後	☆	山本・猿山	目崎・猿山	目崎・米満	山本・猿山	目崎・仲田	目崎満津子
	夜診	18:00～20:00	猿山雅典		目崎満津子		目崎満津子	
健診 （予約のみ）	午前	☆	東良平	藤井守	小國達郎	小國達郎	東良平	佐藤暢
	午後	13:30～16:00	東良平	藤井守	小國達郎	婦人科健診のみ	東良平	

※①…循環器内科は月・水・木・金・第1土曜日は予約制となります。
※②…整形外科の診療(午後診）は手術のため、急遽休診となる場合があります。
※③…歯科の受付時間は各日ともに診療終了時刻の 1 時間前となります。
◎……予防接種・乳幼児健診・アレルギー・検査日（13:30～17:00）
☆……午前 8:30～12:00
　　午後 13:30～17:00

当番医のお知らせ

11 月 3 日(祝)と 11 月 15 日(日)は、地区の当番医です。

児島中央病院だより Vol.107
平成27 年11 月1 日発行 （毎月発行）
発行責任者 田邉 秀幸
編集責任者 山田 達也
一般財団法人仁厚医学研究所児島中央病院

倉敷市児島小川町3685 番地
代表（086）472-1611 FAX（086)474-3148
TEL （086）473-7815 FAX（086）473-7816
http://www.kojimach.or.jp